

令和4年度 第2回 福井県渋滞対策協議会

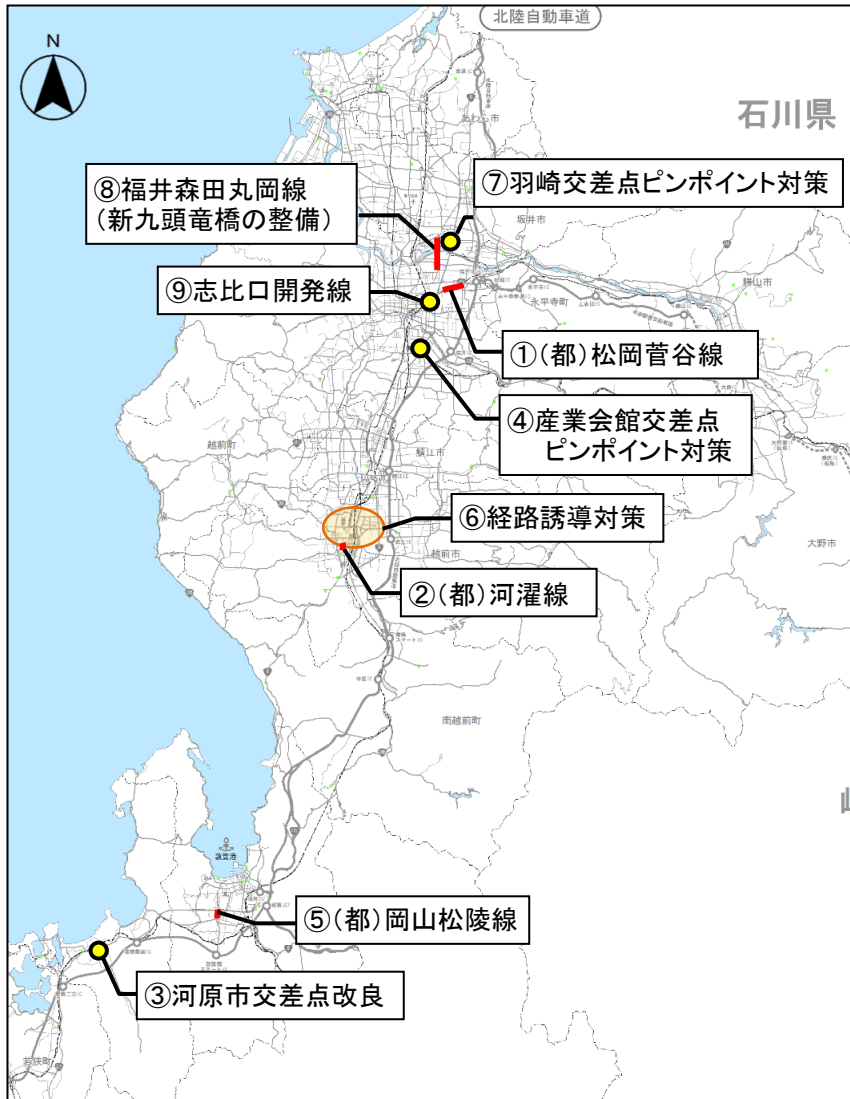
～主要渋滞箇所の特定期間解除検討及び今後の対応方針～

令和5年3月

1. 今年度の特定解除検討箇所について

- 今年度は、事業①～⑦について、R3、R4のデータを用いて、特定解除検討を行った。
- なお、R2年については新型コロナウイルスによる移動自粛等もあり例年と交通状況が異なるため、特定解除検討に使用していない。

《位置図》



■今年度以降の特定解除検討(予定)箇所

No.	事業・対策内容	完了時期	主要渋滞箇所	今後の対応方針
①	(都)松岡菅谷線	H30.9	芝原上新橋南詰	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度に特定解除予定 • 現地調査予定
②	(都)河濯線	H30.9	万代橋東詰	<ul style="list-style-type: none"> • 継続モニタリング • 速度低下流入部の要因調査
③	河原市交差点改良 (右折レーン、バス停留所の設置)	H31.3	河原市	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度に特定解除予定 • 速度低下流入部の要因調査
④	産業会館交差点ピンポイント対策 (右折導流線の設置)	R1.9	産業会館	<ul style="list-style-type: none"> • 継続モニタリング • 渋滞要因調査
⑤	(都)岡山松陵線	R1.12	西野神	<ul style="list-style-type: none"> • 継続モニタリング • 追加対策の検討
			萩野	<ul style="list-style-type: none"> • 継続モニタリング • 速度低下流入部の要因調査
⑥	経路誘導対策	R3.3	横市	<ul style="list-style-type: none"> • 継続モニタリング • 速度低下流入部の要因調査
⑦	羽崎交差点ピンポイント対策 右折レーン正対化、右折導流線設置	R3.3	羽崎	<ul style="list-style-type: none"> • 継続モニタリング • 速度低下流入部の要因調査
⑧	福井森田丸岡線 (新九頭竜橋の整備)	R4.10		

3. 主要渋滞箇所の特定解除検討 (①(都)松岡菅谷線)

芝原上新橋南詰交差点

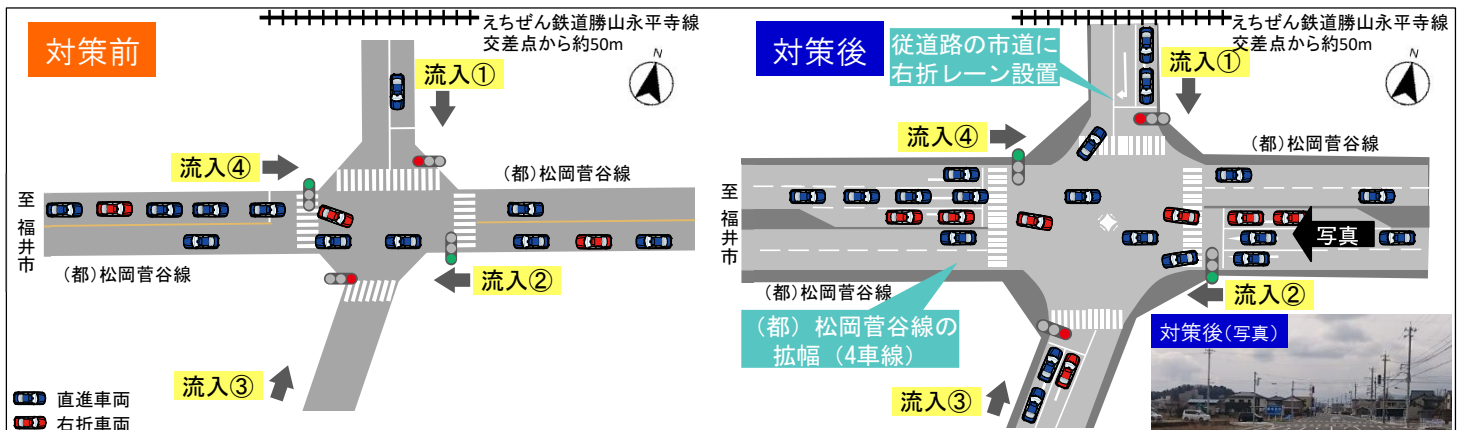
- 平成30年9月に、(都)松岡菅谷線の交差点拡幅事業が完了。当該路線の拡幅、全流入部に右折レーンを設置。
- 流入部②③④で速度向上が見られ、全ての時間帯において2年連続20km/h以上となった。
- R4年に各時間帯とも速度向上がみられた。流入①の慢性的な速度低下に関しては近接する踏切の影響が想定される。
- 流入①については、来年度は現地調査を行い渋滞の有無を確認し、特定解除に向けた検討を実施。

交差点名	抽出指標 (選定時)	渋滞発生 の流入部
芝原上新橋南詰	パブコメ	流入①、②

《位置図》



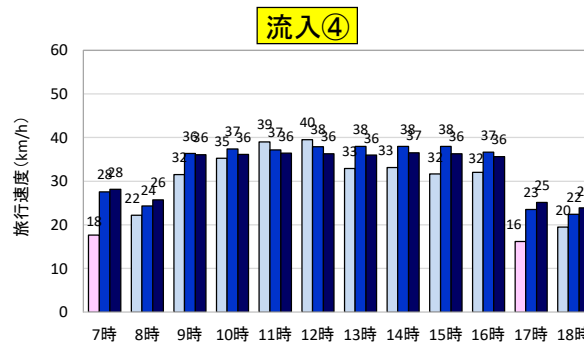
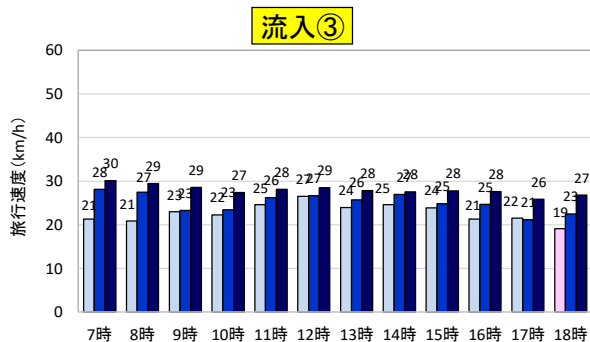
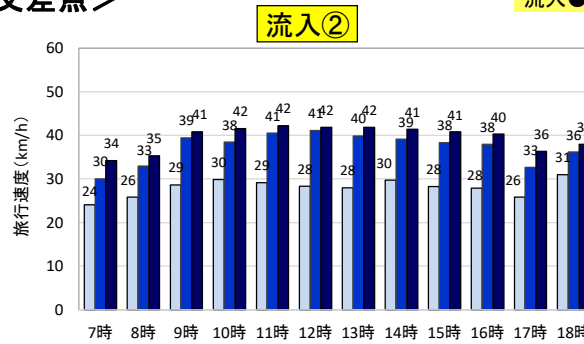
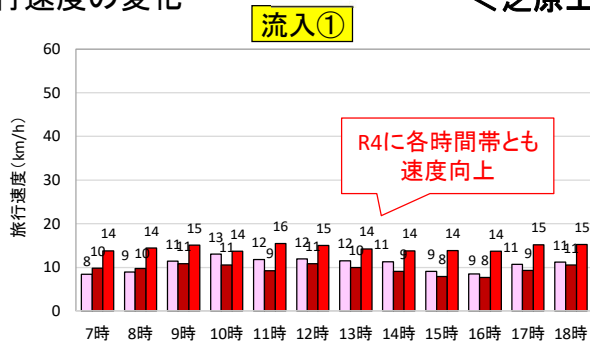
《広域図》



旅行速度の変化

《芝原上新橋南詰交差点》

流入● 対策効果が見込まれる流入方向



R3	【流入①】20km/h以下の時間帯残る 【流入②③④】向上、全ての時間帯で20km/h以上
R4	〃
判定	—
今後の対応： ・引き続き現地調査する等、特定解除しても問題ないか検討する予定	

【旅行速度】

	20km/h以上	20km/h未満
対策前(H28.9-11)	浅藍色	淡紫色
対策後(R 3.9-11)	藍色	赤色
対策後(R 4.9-11)	濃藍色	濃赤色

※民間プローブデータ(H28.9-H28.11 平日)
ETC2.0データ(R3.9-R3.11、R4.9-R4.11 平日)

3. 主要渋滞箇所の特定解除検討 (②(都)河濯線、⑥経路誘導対策)

万代橋東詰交差点

- 平成30年9月8日に(都)河濯線が一部開通(深草一丁目～二丁目間)。越前市街のネットワーク網の一部として形成され交通の分散に期待。令和3年3月に、経路誘導対策を実施し、河濯線への交通転換を図った。
- 流入②④とも、対策前と比較してピーク時に速度向上がみられる。
- 対策前に渋滞が発生していた流入②の朝ピークは、速度向上はみられるものの8時台で20km/h未満となっている。

交差点名	抽出指標 (選定時)	渋滞発生 の流入部
万代橋東詰	パブコメ	流入②

《位置図》



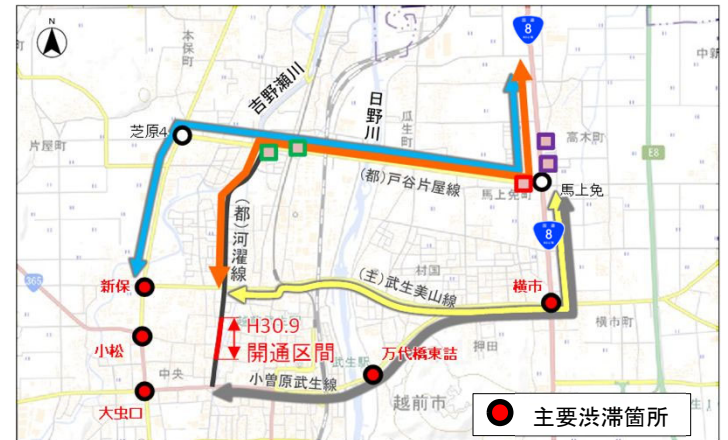
《広域図》



■河濯線の対策概要

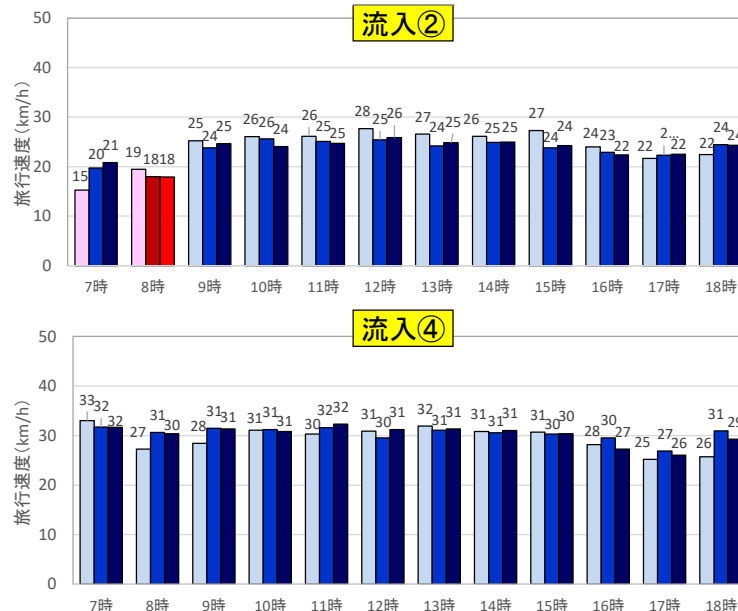


■経路誘導対策の概要



■ 旅行速度の変化

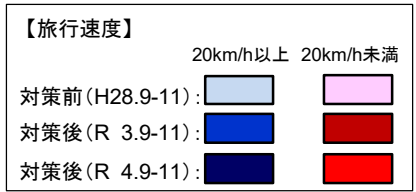
＜万代橋東詰交差点＞



交差点手前で合流あり

流入● 対策効果が見込まれる流入方向
※ETC2.0プローブデータの経路分析結果

R3	【流入②】朝ピークに20km/h以下の時間帯残る
R4	”
判定	解除基準に該当しない
今後の対策: ・流入②は停止線の10m手前に、車両の合流があるため、今後は現地での確認を行い、渋滞の有無を判断(福井県、越前市)	



※流入①、③は市道のため、データなし
ETC2.0データ(対策前:H28.9-H28.11、対策後:R3.9-R3.11、R4.9-R4.11 平日)

3. 主要渋滞箇所の特定解除検討 (③河原市交差点改良)

- 平成31年3月に、河原市交差点の西側流入部では、右折レーンの設置、東方面行きバス停留所の設置完了。
- 流入①は、海水浴シーズン(休日)において、H24特定時(対策前)より特に全時間帯の速度向上が見られた。
- 流入③は、特定時と比べて全時間帯において速度が30km/h以上となっている。
- 流入②は対策していないものの、慢性的に速度低下していることから現地で速度低下要因を確認することが望ましい。
- 令和5年度は、流入②において海水浴シーズン(休日)の交通状況確認を行い、特定解除判定を実施する予定。

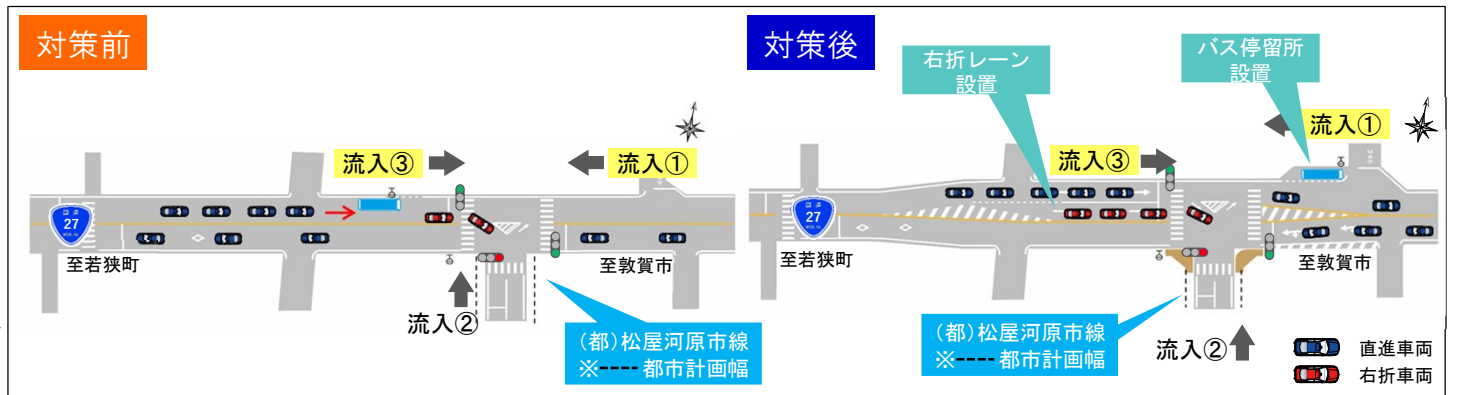
交差点名	抽出指標 (選定時)	渋滞発生の 流入部
河原市	③-2軸※	流入①

※休日平均旅行速度

《位置図》



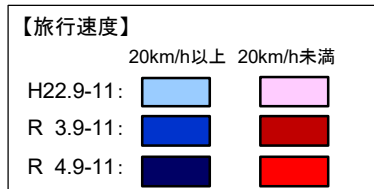
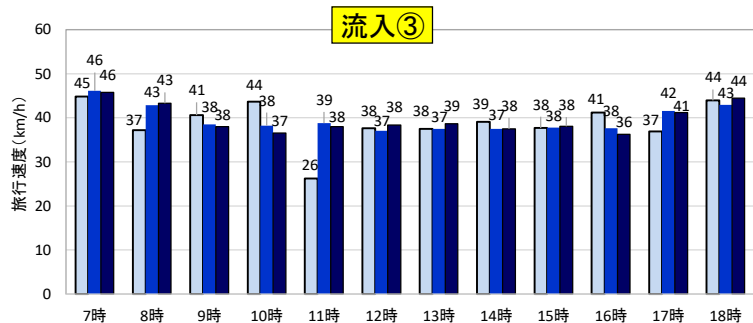
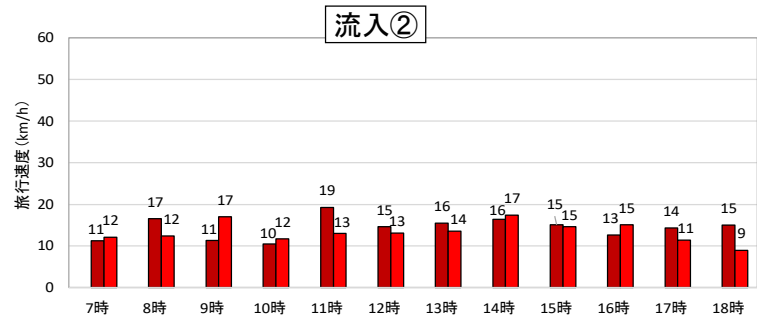
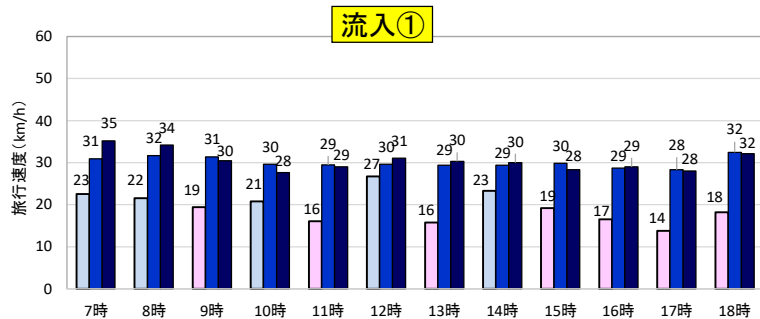
《広域図》



■ 旅行速度(海水浴シーズンの休日の変化)

<河原町交差点>

流入● 対策効果が見込まれる流入方向



R3	【流入①②】同上 【流入③】朝夕の時間帯は対策前より向上し、全ての時間帯が20km/h以上
R4	”
判定	解除基準に該当しない
今後の対応: ・流入②において、来年度は海水浴シーズン(休日)の交通状況確認を行い、渋滞の有無を判断 ・来年度は、モニタリングを継続的に実施	

※ETC2.0データ(対策前:H22.7.1~H22.8.21、対策後 R3.7.1~R3.8.15、R4.7.1~R4.8.14 休日)

3. 主要渋滞箇所の特定解除検討(④産業会館交差点ピンポイント対策)

産業会館交差点

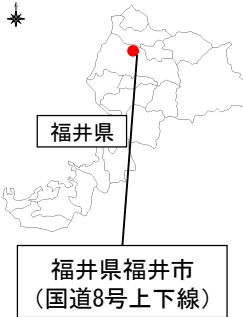
- 令和元年9月に、産業会館交差点の右折導流線を設置。交差点内での右折待ち車両の動線を整流化。
- 流入①は対策前より、全時間帯において速度が向上、特に夕ピークは3km/h向上している。
- 流入③は、昼間において速度向上が見られたが、ピーク時間帯に20km/h以下の時間帯が残る。
- 流入②は慢性的に速度低下しており、速度がほぼ変わらない。実際に渋滞が発生しているかを現地確認する必要がある。
- 今後、現地調査を実施し、右折滞留による後続車の阻害状況、または他の渋滞原因を確認する。

道路利用者会議
要望箇所

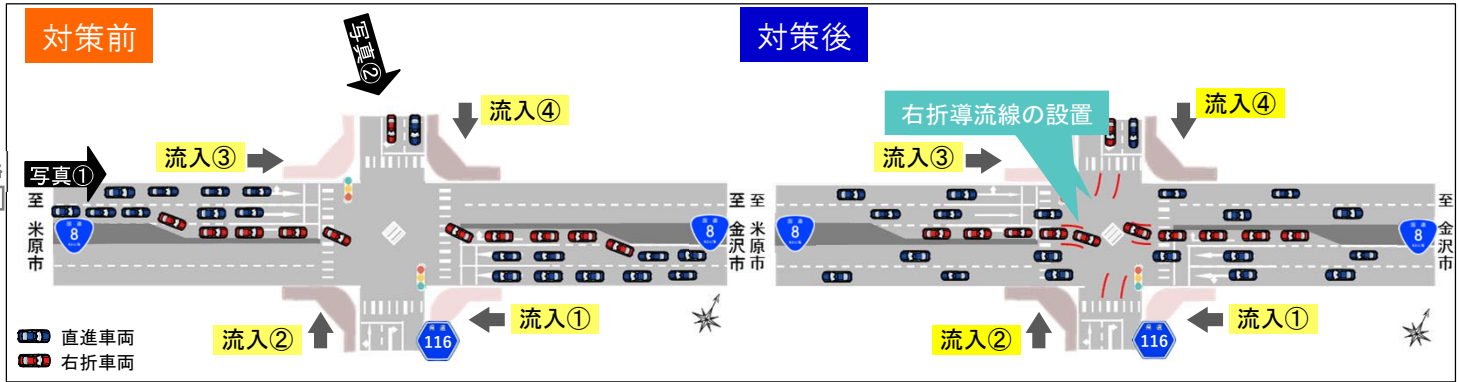
交差点名	抽出指標 (選定時)	渋滞発生 の流入部
産業会館	③-1軸*	流入②、③、④

※7時台と17時台の平日平均旅行速度

≪位置図≫

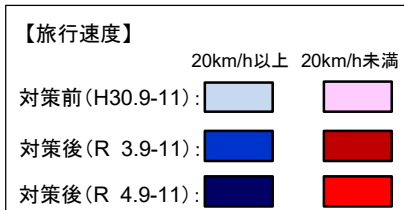
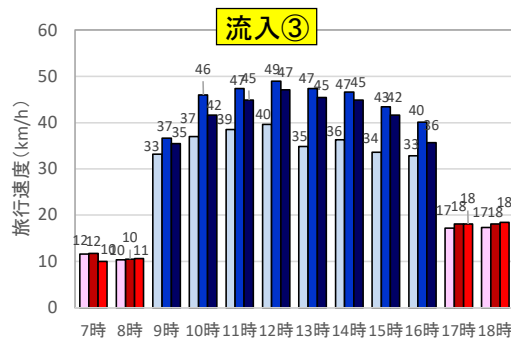
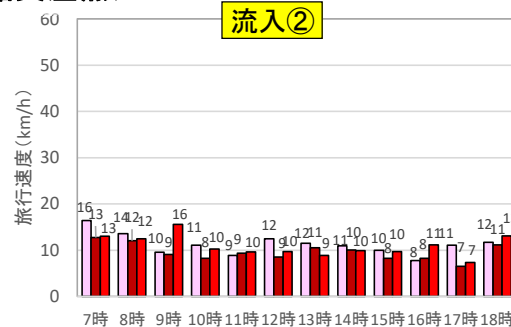
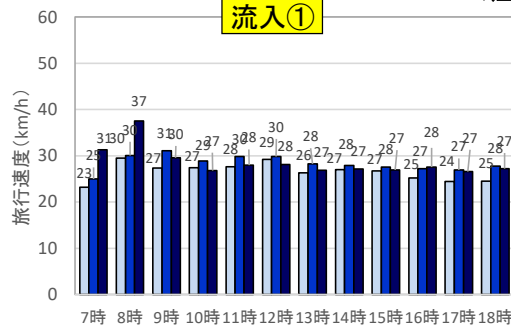


≪広域図≫



旅行速度の変化

<産業会館交差点>



R3	【流入①③】改善あり、ピーク時に20km/h以下の時間帯残る 【流入②】横ばい、全ての時間帯が20km/h以下
R4	〃
判定	解除基準に該当しない
今後の対応: ・ 今後は、現地調査を実施し、右折滞留による後続車の阻害状況、または他の渋滞原因を確認 ・ 来年度は、モニタリングを継続的に実施	

流入● 対策効果が見込まれる流入方向



※ ETC2.0データ(対策前:H30.9-H30.11、対策後: R3.9-R3.11、R4.9-R4.11 平日)

3. 主要渋滞箇所の特定解除検討(⑤)(都)岡山松陵線

西野神交差点

- ・(都)岡山松陵線が令和元年12月14日に全線開通。県道225号の利用交通(青ルート)は岡山松陵線(赤ルート)に転換することが予測される。
- ・道路開通により、西野神交差点の流入②、④はほぼ全時間帯において、速度向上が見られた。特に流入④の旅行速度は大幅に向上され、全時間帯において20km/h以上となっている。
- ・岡山松陵線開通後においても流入①②③は慢性的な速度低下がみられるため、現地状況を確認し新たな対策の検討が必要である。

交差点名	抽出指標(選定時)	渋滞発生の流入部
西野神	2軸※	流入①

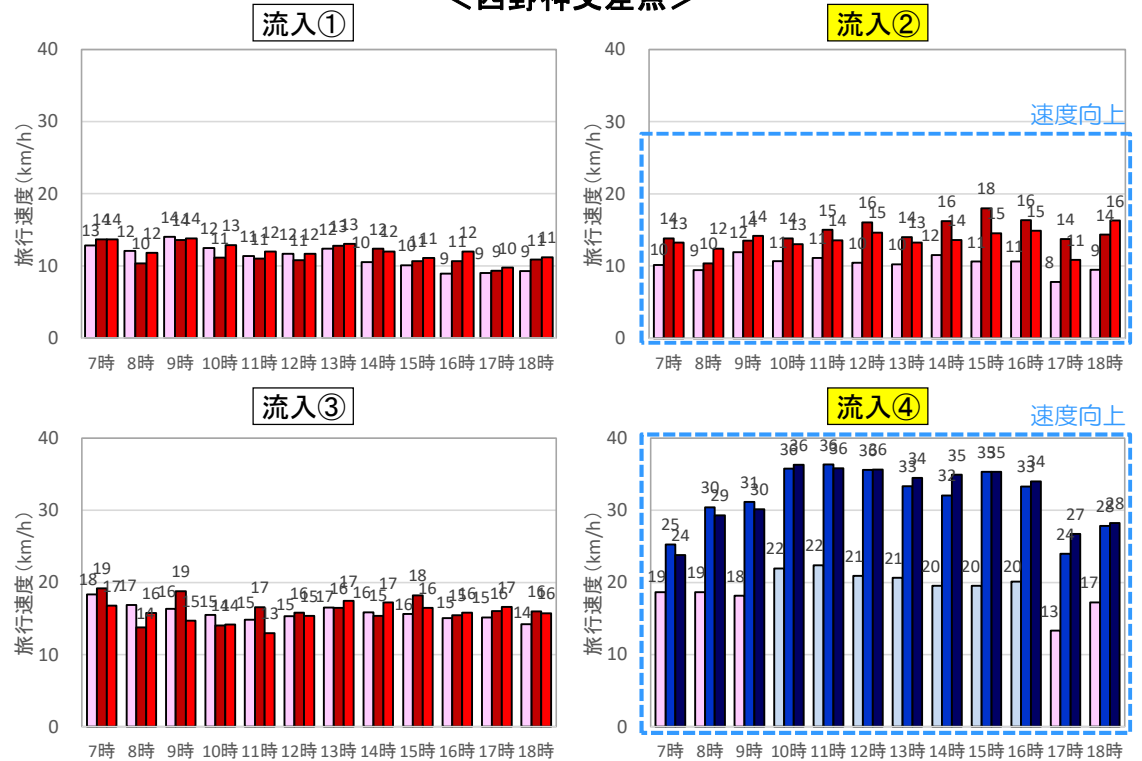
※交差点各方向別最低平均旅行速度

《位置図》



■ 旅行速度の変化

＜西野神交差点＞



【旅行速度】

	20km/h以上	20km/h未満
対策前(R 1.9-11):	浅青	淡紫
対策後(R 3.9-11):	青	紫
対策後(R 4.9-11):	濃青	濃紫

● 流入 対策効果が見込まれる流入方向
 ※ETC2.0データ(対策前:R1.9-R1.11平日、対策後:R3.9-R3.11、R4.9-R4.11平日)

R3	【流入②③】改善あり、20km/h以下の時間帯が残る 【流入④】大幅速度向上、全ての時間帯が20km/h以上
R4	〃
判定	解除基準に該当しない
今後の対応: 今後は、流入③の現地状況を確認し、経路転換を促進できる対策を検討していく 来年度はモニタリングを継続的に実施	

3. 主要渋滞箇所の特定解除検討(⑤)(都)岡山松陵線

萩野交差点

- (都)岡山松陵線が令和元年12月14日に全線開通。市道木崎線の利用交通(青ルート)は岡山松陵線(赤ルート)に転換することが予測される。
- 萩野交差点の流入①、③は対策前より速度向上がみられ、特に流入③について全時間帯が20km/h以上になっている。
- 流入②④において全時間帯とも20km/h以上である。
- 今後は、市道である流入①については慢性的に速度低下しており、現地で渋滞の有無を確認する予定。

交差点名	抽出指標(選定時)	渋滞発生流入部
萩野	③-2軸*	流入④

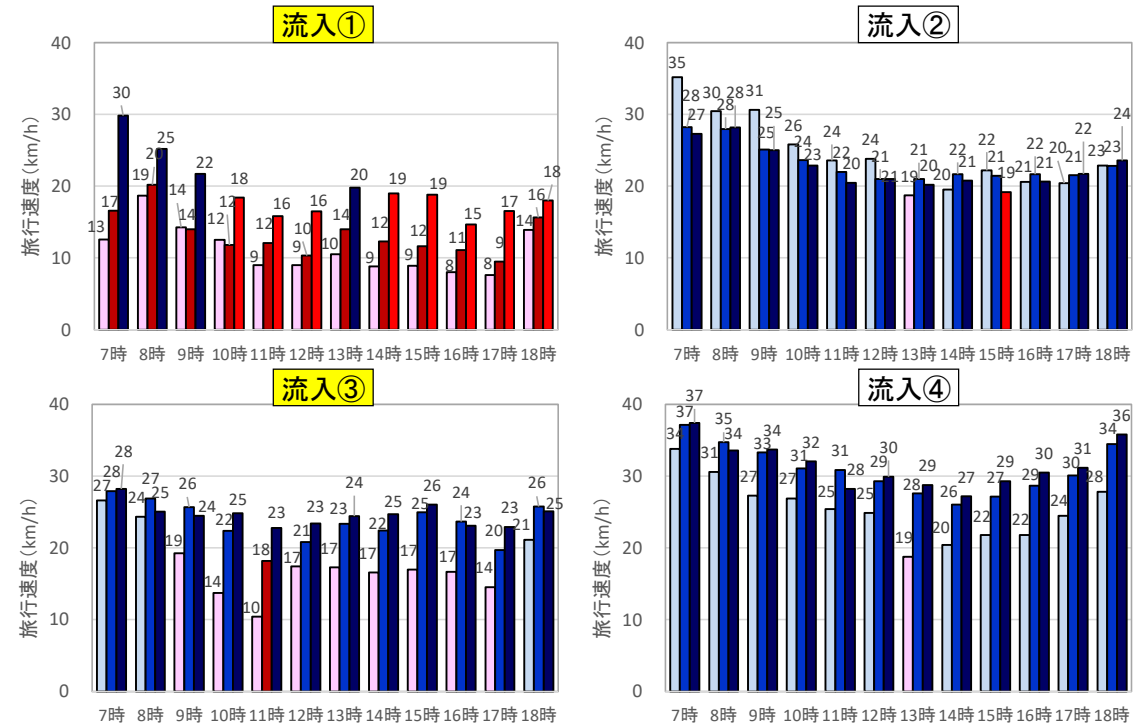
※休日平均旅行速度

《位置図》



■ 旅行速度の変化

《萩野交差点》



【旅行速度】

	20km/h以上	20km/h未満
対策前(R1海水浴シーズン):	Light Blue	Light Pink
対策後(R3海水浴シーズン):	Dark Blue	Dark Red
対策後(R4海水浴シーズン):	Light Blue	Light Red

流入● 対策効果が見込まれる流入方向

※ETC2.0データ(海水浴シーズン 対策前:R1.7.1~R1.8.18, 対策後:R3.7.1~R3.8.15, R4.7.1~R4.8.14 休日)

R3	【流入①③】改善あり、20km/h以下の時間帯が残る 【流入②④】速度向上、全ての時間帯20km/h以上
R4	【流入①】改善あり、20km/h以下の時間帯が残る 【流入②】20km/h以下の時間帯が残る 【流入③④】速度向上、全ての時間帯20km/h以上
判定	解除基準に該当しない
今後の対応: 今後は、流入①の現地状況を確認 来年度はモニタリングを継続的に実施	

3. 主要渋滞箇所の特定解除検討 (⑥経路誘導対策)

横市交差点

- 平成30年に(都)河渥線が一部開通(深草一丁目～二丁目間)となり、福井市方面と越前市街地間に複数の経路が形成された。横市交差点の渋滞対策として、福井方面と越前市街地間の経路誘導施策を令和3年3月に実施した。
- 福井方面から越前市街地の利用経路は、朝夕ピークに約1割が国道8号から河渥線に転換したが、効果が低下する傾向がみられた。
- 流入①は、対策前より夕ピークに若干速度向上がみられた。流入③は各時間帯において速度向上が確認できた。
- 流入④は対策前後速度がほぼ変わらず、20km/h以下の時間帯が残る。
- 流入②、④においては慢性的な速度低下となっていることから、現地確認を行い渋滞発生の有無を調査する必要がある。

交差点名	抽出指標 (選定時)	渋滞発生 の流入部
横市	2軸※	流入②、④

※交差点各方向別最低平均旅行速度

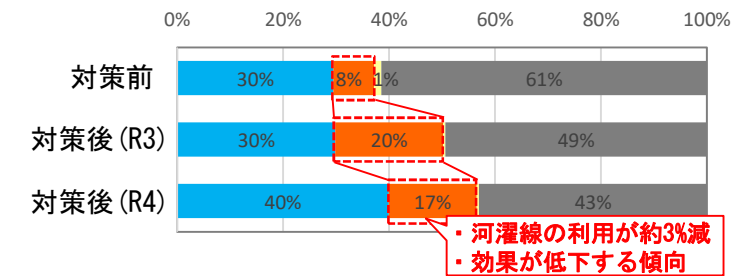
位置図



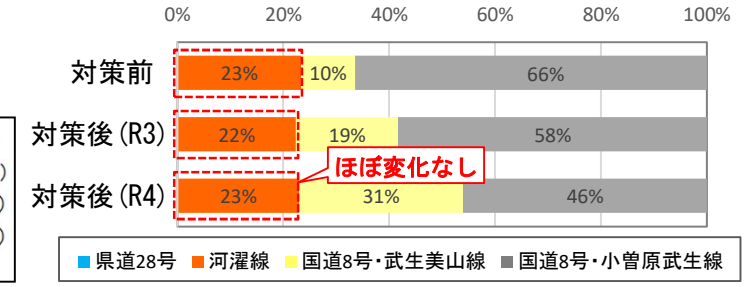
福井市方面→越前市街地の利用経路割合



福井方面→越前市街地の利用経路割合



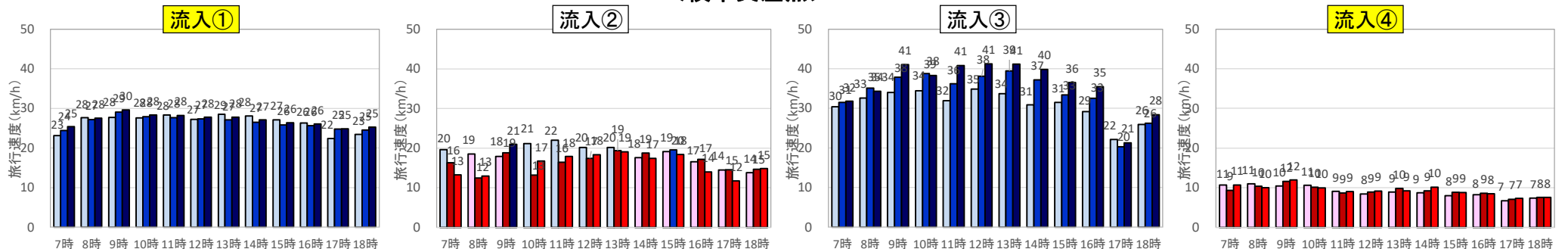
越前市街地→福井方面の利用経路割合



R3	【流入①③】改善あり 【流入②④】20km/h以下の時間帯が残る
R4	〃
判定	解除基準に該当しない

今後の対応:
来年度はモニタリングを継続的に実施

旅行速度の変化



【旅行速度】	対策前 (R 1.9-11)	対策後 (R 3.9-11)	対策後 (R 4.9-11)
20km/h以上	Light Blue	Dark Blue	Dark Blue
20km/h未満	Light Pink	Red	Red

※ ETC2.0データ(対策前: R1.9-R1.11, 対策後: R3.9-R3.11, R4.9-R4.11 平日)

3. 主要渋滞箇所の特定解除検討 (⑦羽崎交差点ピンポイント対策)

羽崎交差点

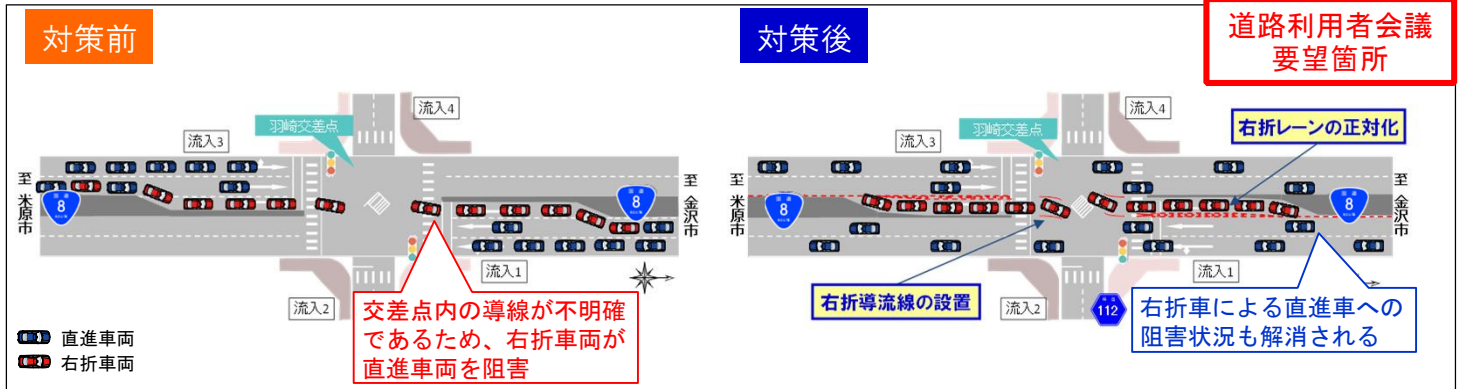
- 羽崎交差点は、R3年3月に、右折レーンの正対化、右折導流線の設置が実施された。
- 対策後、流入①、③は全時間帯において速度向上がみられたが、流入①の朝ピークに20km/h未満の時間帯が存在。流入②④は慢性的に速度低下している。

交差点名	抽出指標 (選定時)	渋滞発生 の流入部
羽崎	パブコメ	流入①、②

◀位置図▶

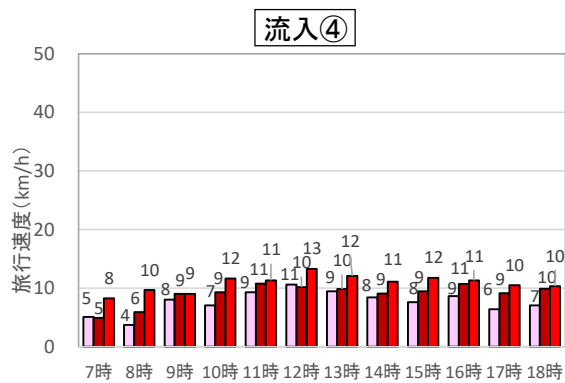
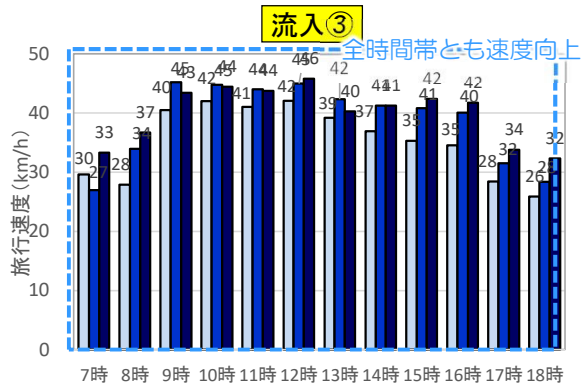
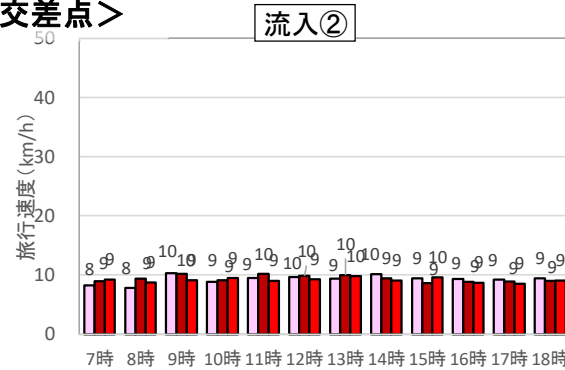
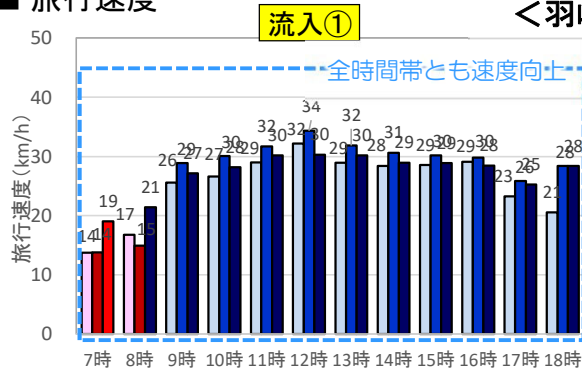


◀広域図▶

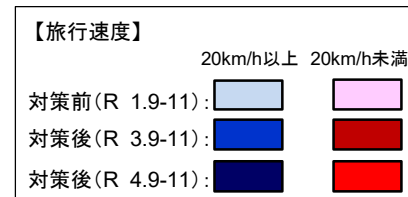


流入● 対策効果が見込まれる流入方向

■ 旅行速度



R3	【流入①】改善あり、朝ピークに20km/h以下の時間帯が残る 【流入②④】常時速度低下 【流入③】改善あり
R4	〃
判定	解除基準に該当しない
今後の対応: 追加対策があるため、来年度はモニタリングを継続的に実施	



※ ETC2.0データ(対策前:H30.9-H30.11、対策後: R3.9-R3.11、R4.9-R4.11 平日)

3. 主要渋滞箇所の特定解除検討 (⑧福井森田丸岡線)

羽崎交差点

- R4年10月に、福井森田丸岡線が部分開通し、国道8号からの交通転換が発生している(資料2参考)。
- 対策後のR4年11月の旅行速度に着目すると、R3年より流入①、③とも大幅の速度向上がみられ、全ての時間帯が20km/h以上となった。
- 次年度は、継続的にモニタリングを実施するとともに、慢性的に速度低下している従道路の渋滞有無を現地で確認する予定。

交差点名	抽出指標 (選定時)	渋滞発生の 流入部
羽崎	パブコメ	流入①、②

《位置図》

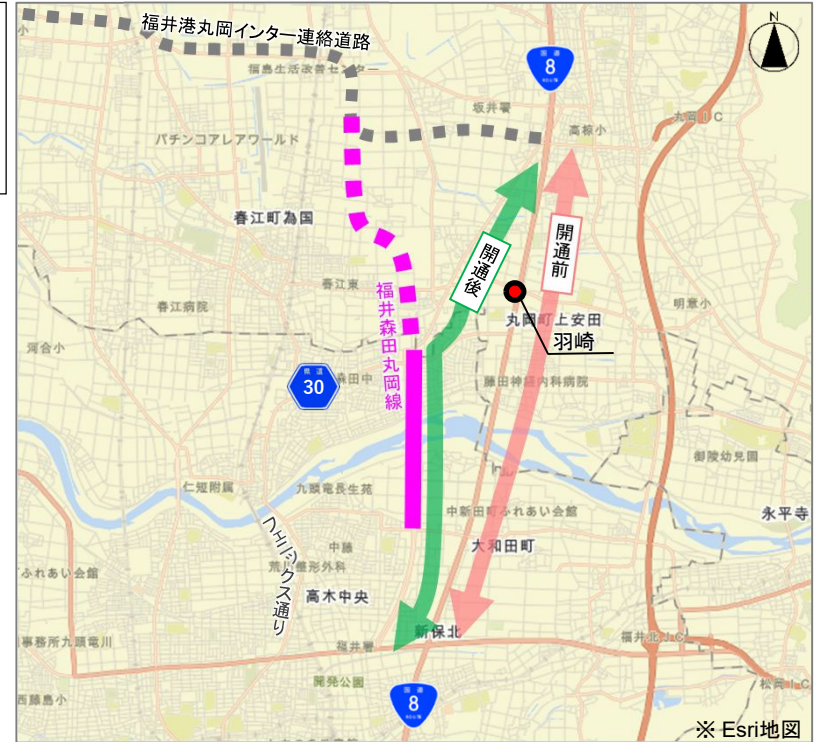


《広域図》



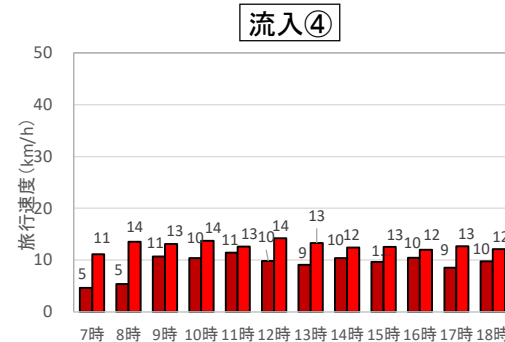
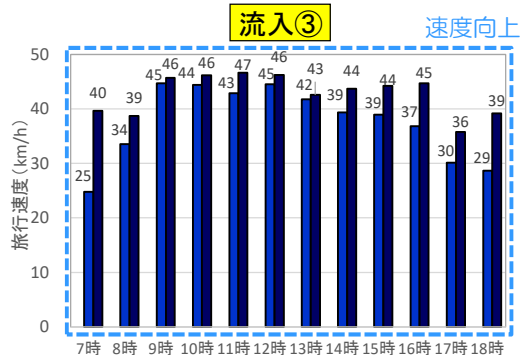
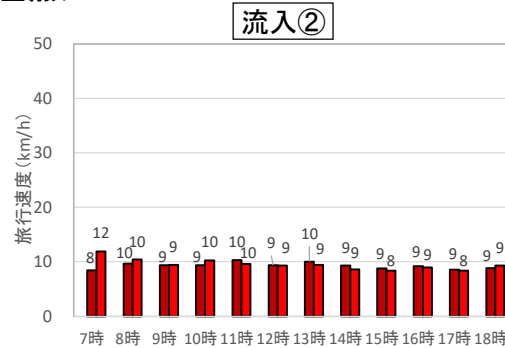
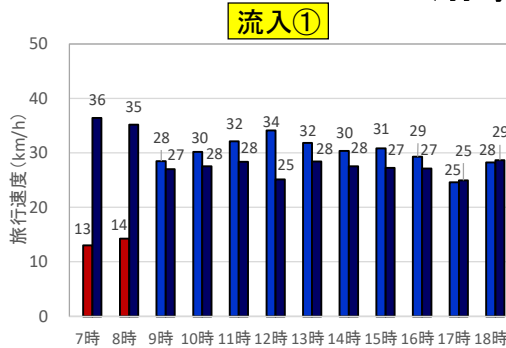
■ 対策内容

- 主要渋滞箇所
- ⇄ 道路開通前の経路
- ⇄ 道路開通後の経路
- 今回開通区間
- ⋯ 整備中区間



■ 旅行速度

＜羽崎交差点＞



【旅行速度】

	20km/h以上	20km/h未満
対策後(R 3.11):	■ (Blue)	■ (Red)
対策後(R 4.11):	■ (Dark Blue)	■ (Dark Red)

R4	【流入①③】改善あり 【流入②④】常時速度低下
R5	—
判定	—
今後の対応: 来年度はモニタリングを継続的に実施	

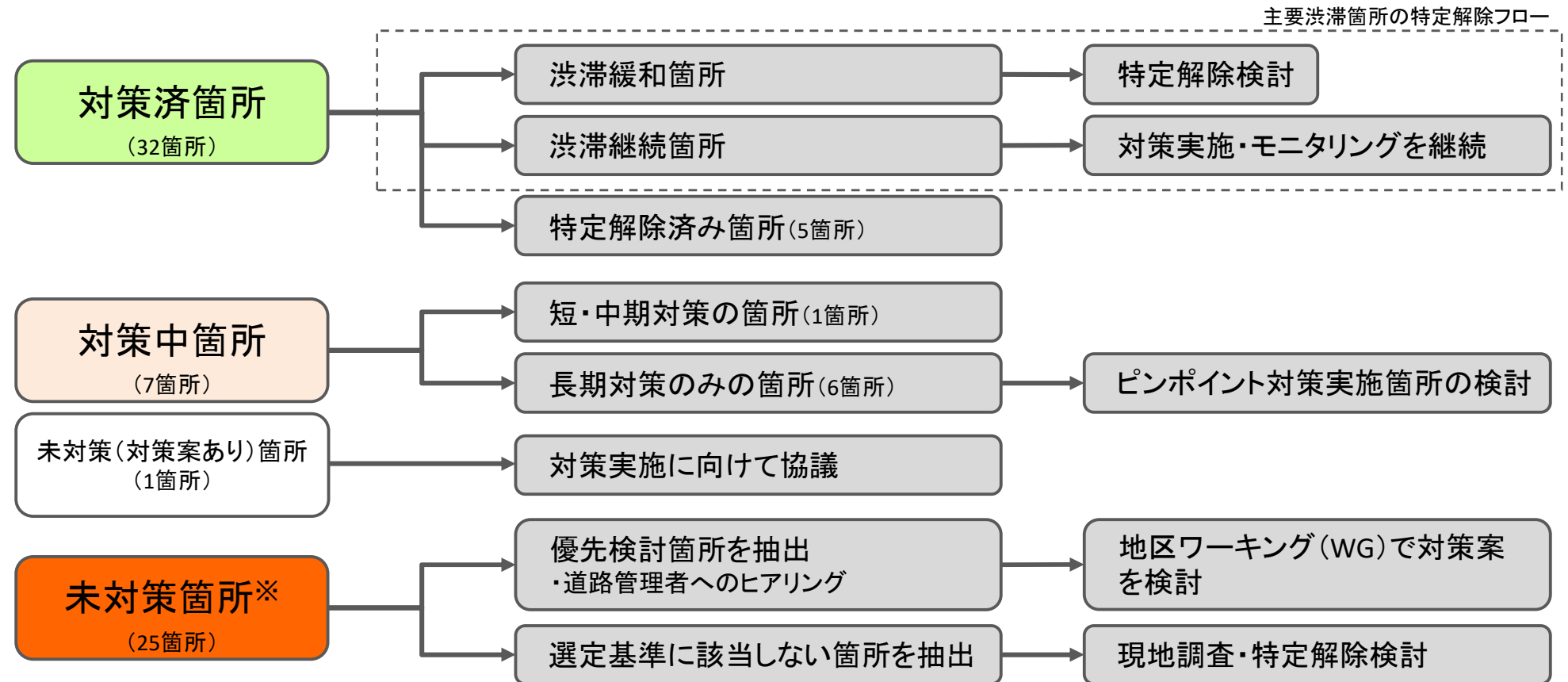
※ ETC2.0データ(対策前:R3.11、対策後:R4.11 平日)

4. 今後の対応方針

【課題】

- 福井県内の主要渋滞箇所65箇所のうち、未対策箇所（対策案検討中または未検討箇所）が25箇所ある。
- 未対策箇所については、選定時から交通状況が変化していることもあり、地区ワーキングで交通課題状況を再確認していく。
- また、必要に応じて現地確認や交通実態調査を行い渋滞の発生の有無を確認した上で、対策検討または特定解除検討を実施する。

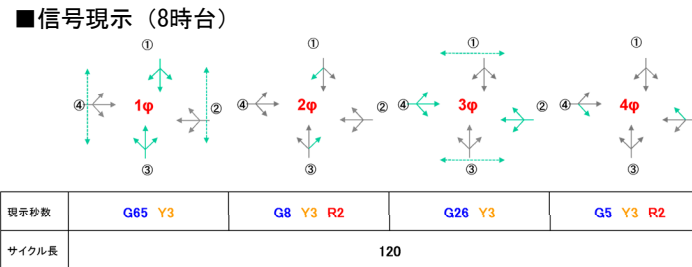
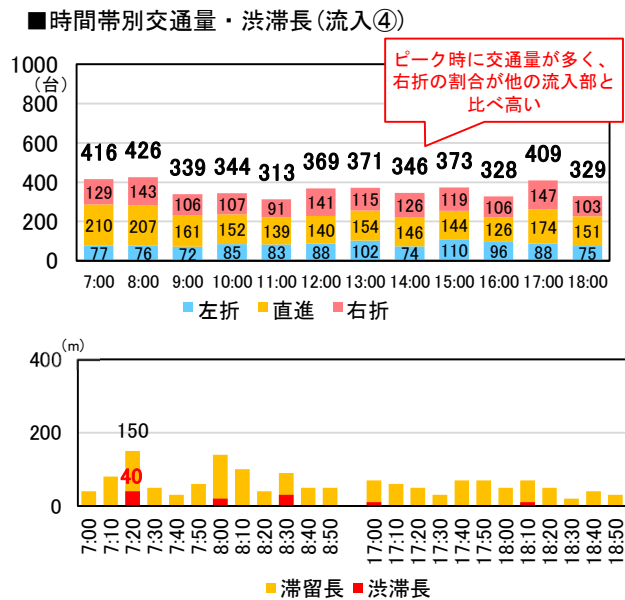
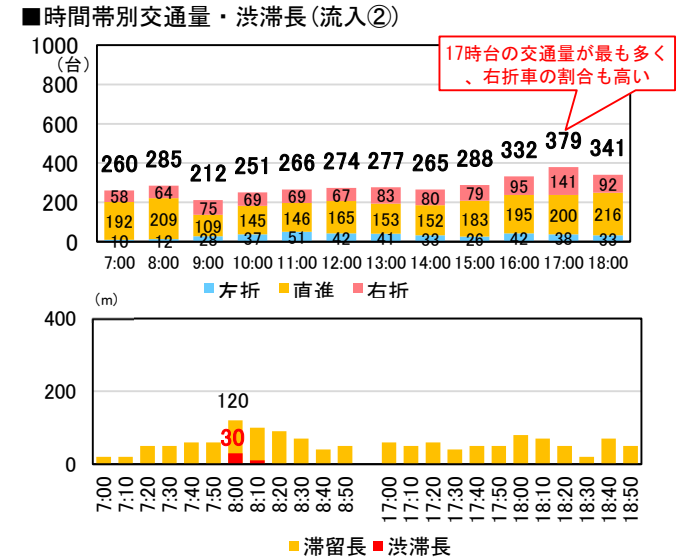
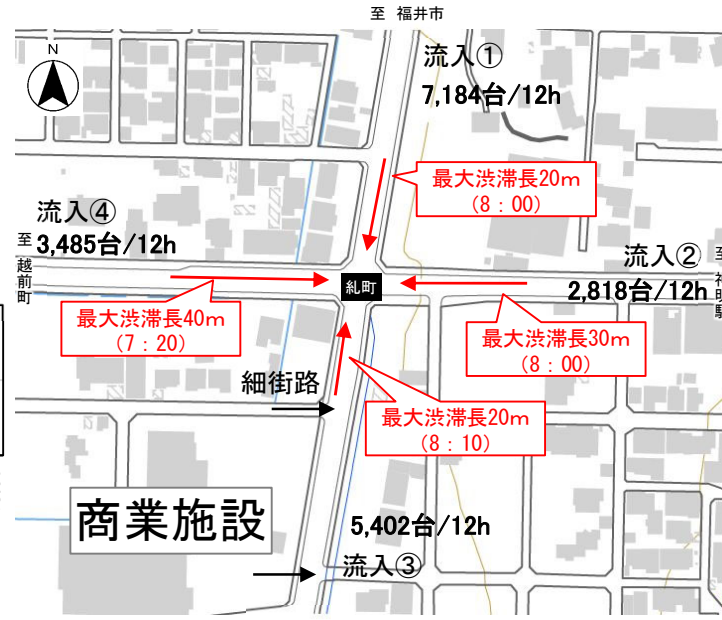
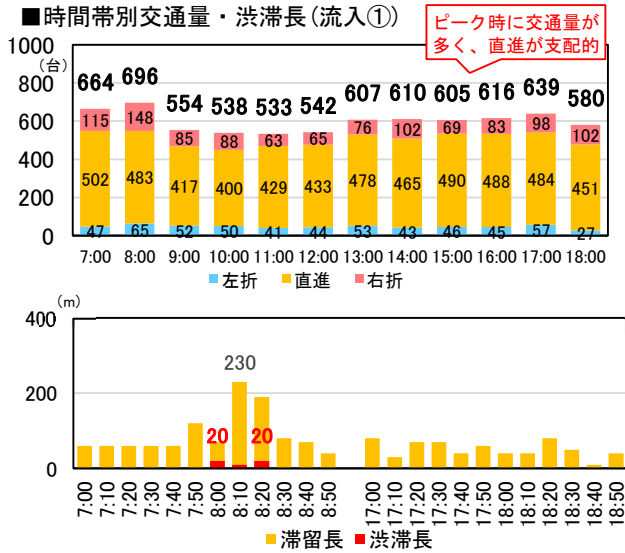
【今後の対応方針】



※対策検討中、未検討箇所

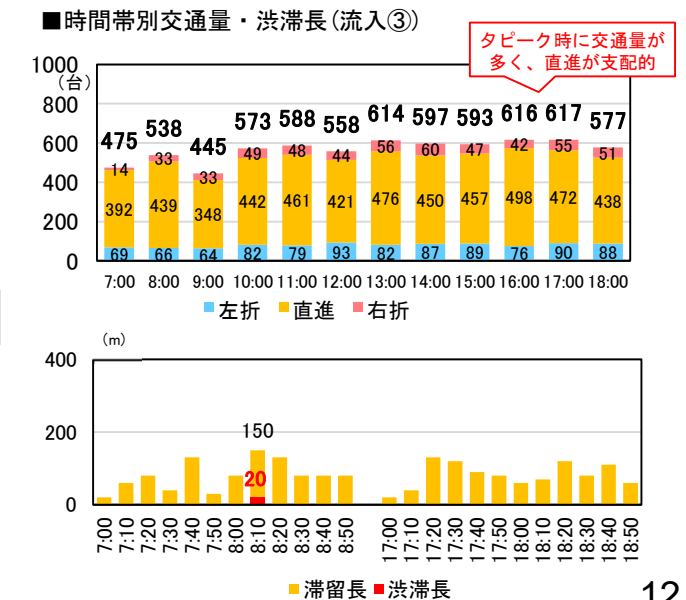
4. 今後の対応方針(未検討箇所で交通実態調査をした事例)

- 今年度、越前・鯖江地区WGIにおいて、鯖江市の糺町交差点の対策検討するため交通実態調査を実施。
- 糺町交差点は、朝ピーク時に全方向において、20m~40m程度の渋滞長が観測された。
- ただし、速度低下の要因として想定していた細街路・商業施設からの沿道出入り交通の影響や、その他の事象はみられなかった。



■細街路・商業施設からの沿道出入り影響(流入③)

時間帯	細街路		商業施設	
	出入台数	阻害回数	出入台数	阻害回数
17時台	13	0	35	0
18時台	22	3	36	0



出典: 定点カメラ調査結果(R4.12.12)

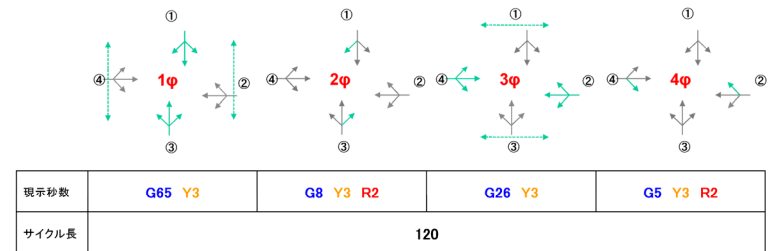
4. 今後の対応方針(未検討箇所での交通実態調査をした事例)

- 糺町交差点は、交差点需要率を解析した結果、交通容量比や信号現示時間等、特に問題がない。
- 調査の結果、各方向の渋滞長が短く、主要渋滞箇所の解除条件を満たしていることを踏まえ、次年度に、道路管理者による現地確認を行った上で特定解除検討を実施予定。

【交差点解析条件】

- R4.12.12(月)の定点カメラ調査結果を使用
- 渋滞長を考慮した需要交通量で解析を実施
- 全流入方向交通量が最大の7:40~8:40で解析を実施

■現況の信号現示



■現況の解析結果

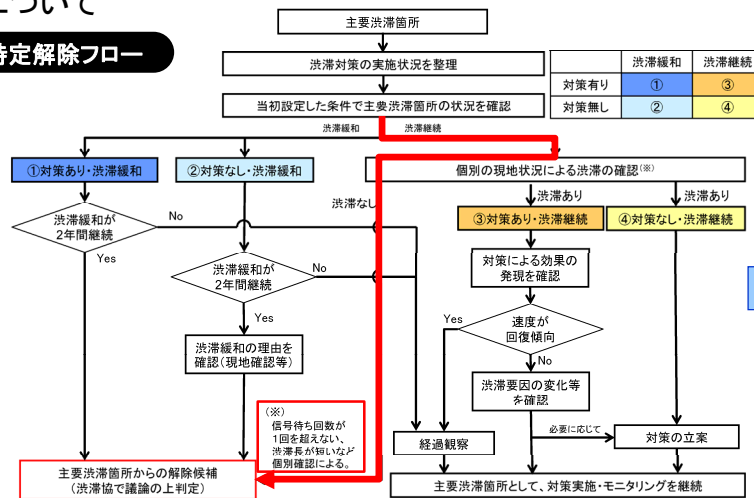
交差点名 流入部	糺町							
	① 南行き		② 西行き		③ 北行き		④ 東行き	
車線の種類	左折・直進	右折	左折・直進	右折	左折・直進	右折	左折・直進	右折
車線数	1	1	1	1	1	1	1	1
飽和交通流率の基本値 S/B	2,000	1,800	2,000	1,800	2,000	1,800	2,000	1,800
飽和交通流率 S/A	1,901	1,710	1,950	1,778	1,958	1,800	1,930	1,800
設計交通量 q	599 (62+537)	160	253 (13+240)	57	606 (78+528)	54	288 (96+192)	162
右折補正交通量 q R-N		100		0		0		102
交差点流入部の需要率 ρ	0.315	0.058	0.130	-	0.309	-	0.149	0.057
必要現示率	1φ	0.315			0.309			
	2φ		0.058			0.000		
	3φ			0.130			0.149	
	4φ				0.000			0.057
有効青時間(秒)	1φ	66			66			
	2φ		13					
	3φ			27				
	4φ				10			10
信号青時間比 G/C	66/120	13/120	27/120	10/120	66/120	13/120	27/120	10/120
可能交通容量 C i	1,046	245	439	208	1,077	255	434	210
交通容量比 q/C i	0.573	0.653	0.576	0.274	0.563	0.212	0.664	0.771
交通処理案のチェック	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
滞留長 L s (m)	190.2	61.2	82.2	25.5	183.6	23.8	87.6	57.3

現示の需要率	0.315
交差点の需要率	0.579
サイクル長(秒)	120

解析上問題ない

■今後の対応について

主要渋滞箇所の特定解除フロー



調査では、各方向の渋滞長が短く、主要渋滞箇所の解除条件を満たしている。
今後、主要渋滞箇所の解除を議論。

4. 今後の対応方針(次年度の取組み案)

- 今年度に確認できなかった芝原上新橋南詰交差点及び海水浴シーズンの河原市交差点等の交通状況を現地確認を行い、特定解除して問題ないか検討する(次年度の第1回協議会で審議)。
- その他、丸山交差点の警察協議での意見を踏まえた対策検討や未対策箇所の調査、対策立案を進める。
- また、対策済の箇所において従道路の旅行速度が慢性的に低い箇所は現地状況を確認し、渋滞が発生しているかどうかを調査する。

項目	主要渋滞箇所	令和5年			令和6年	検討主体
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
特定解除検討	芝原上新橋南詰	■				福井市
	河原市		海水浴シーズン ■			福井県
	万代橋東詰	■				福井県、越前市
	横市	■				国、福井県
	糺町	■				福井県
対策検討	丸山交差点	■				国、福井県、県警
	TDM(新保、小松、大虫口等)	アンケート結果の詳細分析、チラシ作成、企業呼びかけ等				国(調査支援)、越前市
要因分析・対策立案に向けた調査	三国東7or光陽or大仏前	■				国(調査支援)、福井県
現地確認	産業会館	■				国
	羽崎	■				国
WG			●		●	
協議会			● 現地で渋滞の有無を確認した上で特定解除を審議		● 河原市の特定解除を審議	